



# ひしのみだより

令和7年3月3日

文責 園長 江頭一寛

## 最後まで元気に楽しく過ごしましょう

3月に入りあいにくの空模様が続いていますが、2月末からは朝の冷え込みも和らぎ、日中の気温も温かさを感じるくらいになり、春本番がもう目の前にやってきているようです。早いもので令和6年度も最後の月となりました。年長児さんは3月15日に修了証書授与式（卒園式）があり、また24日には年中・年少児さんの修了式があります。一つの区切りとしての式を経て、また次年度に向かって元気にたくましく子どもたちが日々を過ごしていけるように最後まで職員一同、

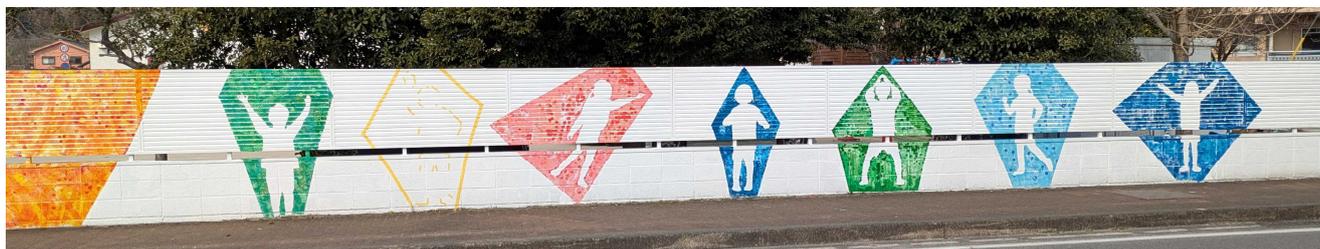


2月の避難訓練の一場面

教育・保育にあたっていく所存です。なお、この1年間園の諸行事への参加、天候不順による対応等、いろいろな場面でご支援・ご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。それでは3月末日まで、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## 思い出の宝物 ウォールアート作成

既にご存じの保護者さんばかりだとは思いますが、『多久市ウォールアートプロジェクト』【多久市の中心市街地に大きなウォールアート（壁画・シャッターアート）を創設し、まちなかに明るさと賑わいをつくるアートプロジェクト。】の一環として、本園の東側並びに南側の壁面に昨年末から壁画を描くことになりました。ウォールアートの関係者のご努力（何回も園に来られて、壁面の清掃、下地作り、年長児さんの等身大の影絵の作成等々）を経て、いよいよ年長児さんたち一人一人も制作を始めた所です。自分の等身大の影絵の周りに、好きな色を使って思い思いにローラーやスタンプ、自分の手形などで描いています。また、ご都合のつく保護者さんにもお子さんと一緒に加わって描いてもらっています（服が汚れてしまって申し訳ありません）。今後の天気次第ではありますが、上述の3月15日の卒園式までには完成させる予定です。今年度の年長児さんにとっては、これまでの卒園生が経験したことの無い貴重なプレゼントになると思います。完成の暁には、是非とも皆様ご覧になられてください。



## 劇団「バク」による観劇会

2月25日に劇団バクのみなさんによる、ミュージカル劇を開催しました。毎年この時期に本園にお呼びしております。今回の演目は「ぶんぶん茶釜」。最初に元気なお兄さんと一緒に手遊びをしたり、歌を歌ったりしてから劇を観ました。古道具屋のやすべえさんが和尚さんから頼まれた茶釜を探していて、森の中で木に腕が挟まったタヌキのぼんのすけを助けてあげます。ぼんのすけは助けてもらったお礼に茶釜に化け、和尚さんのところに。でも、和尚さんが茶釜でお湯を沸かそうとしたからさあ大変。ぼんのすけはやけどしそうになりお寺を飛び出します。そして、やすべえさんに申し訳なく思い、分福茶釜の綱渡りの見世物でお金を稼ぎます……。子どもたちの心が温まる劇でした。団員の皆様、今年もありがとうございました。

